

多言語センターFACIL

Multilanguage Center

FACIL

ワールドキッズコミュニティ



World Kids Community
ワールドキッズコミュニティ

2021年度事業報告

[2021年4月1日～2022年3月31日]

2021年度事業の振り返りと総括

<全体総括>

2021年度も、コロナワクチン接種は進んだものの、まだまだ状況は落ち着きませんでしたが、社会全般にどのようにコロナと共存していくのかについて、さまざまな分野での知恵を絞った取り組みが始まってきたように思います。FACILも、状況に応じて対面での業務を再開はしましたが、新しく取り入れたリモートの環境も活用しながら視野を広げた活動が展開できたと思います。

寺山財団からのご寄付で2020年度から続けている新型コロナウイルス関連支援活動も継続し、その内容や発信手法について関係者へ調査を基にした詳細な検証活動は、そのプロセスそのものも含めて、FACILがめざしている情報多言語化のプラットフォーム構築への大きな前進となりました。

18年継続している医療通訳事業も、寺山財団からの寄付と兵庫県国際交流協会や神戸市からの助成金、また神戸万国医療財団からの寄付などを継続的にいただいていることで、医療通訳の制度化をめざしてきたFACILのモデル事業の基盤強化と可視化が進み、医療通訳の必要性がより関係者にも社会にも認識されてきました。この社会貢献事業を継続してきたことで、コロナ関連翻訳・通訳の受注へとつながり、FACIL本体事業への信頼度も高まったように思います。さらに、寺山財団事業として、医療通訳者やコーディネーターの育成が効果をあげたことは、報告書にも詳しく説明させていただいています。

FACILの主軸となっている翻訳・通訳事業にもコロナの影響は、マイナスをプラスに転換させる可能性につながっています。オンラインの活用が社会全体に進んだことにより、需要が増加した遠隔での同時通訳などについて、コーディネーターも試行錯誤をして技術を習得できました。ワクチン接種会場での通訳手配の依頼や保健センターの疫学調査の際の電話通訳手配など、神戸市との緊急時の連携も進みました。おかげで、今年度も黒字決算となりました。ソーシャルビジネスとして、多言語化の促進に貢献するという目的達成に近づきました。

また、会計入力とも連動したデータベースのクラウド化もようやく運用が始まり、職員一人ひとりがこれに慣れていけば、業務の効率化が進んでいくようです。

多文化企画事業の一つでもあるJICA研修事業は、FACILに直接的な研修依頼にはまだつながらなかったものの、その延長線上で、兵庫・国際協力同志の会（HYOMIC）の幹事として連携して実施したセミナーなどは有意義な活動となり、記録をブックレットとして発行するなど、今後は社会全体に国際協力と多文化共生の連携の必要を示唆する事業となりました。昨年度同様、アドバイスや研究講師としての協力も、今後につながるものと期待できるようです。

ワールドキッズコミュニティは、2022年度でその活動をFACIL内のプロジェクトと位置づけ、団体としては終了します。これまでも実態としては、FACIL職員が実質的な業務を担っていたので移行はスムーズです。外国ルーツの子どもたちとその保護者たちとの連携事業は、今後も必要とされる大切なテーマとして、FACILがしっかりと受け継ぐことを確認しました。

最後に、いよいよ次世代への移行が現実的となり、1年後の理事長交代に向けて役員交代も進めています。サポートして下さる寄付者の方、役員や会員の方たち、そして活動に参加して下さるインターンやボランティアの方たちすべてにも、新しい体制への提案や応援をしてくださいますよう、引き続きどうぞよろしく願い申し上げます。

NPO法人多言語センターFACIL理事長、ワールドキッズコミュニティ代表
吉富 志津代

<職員リスト>

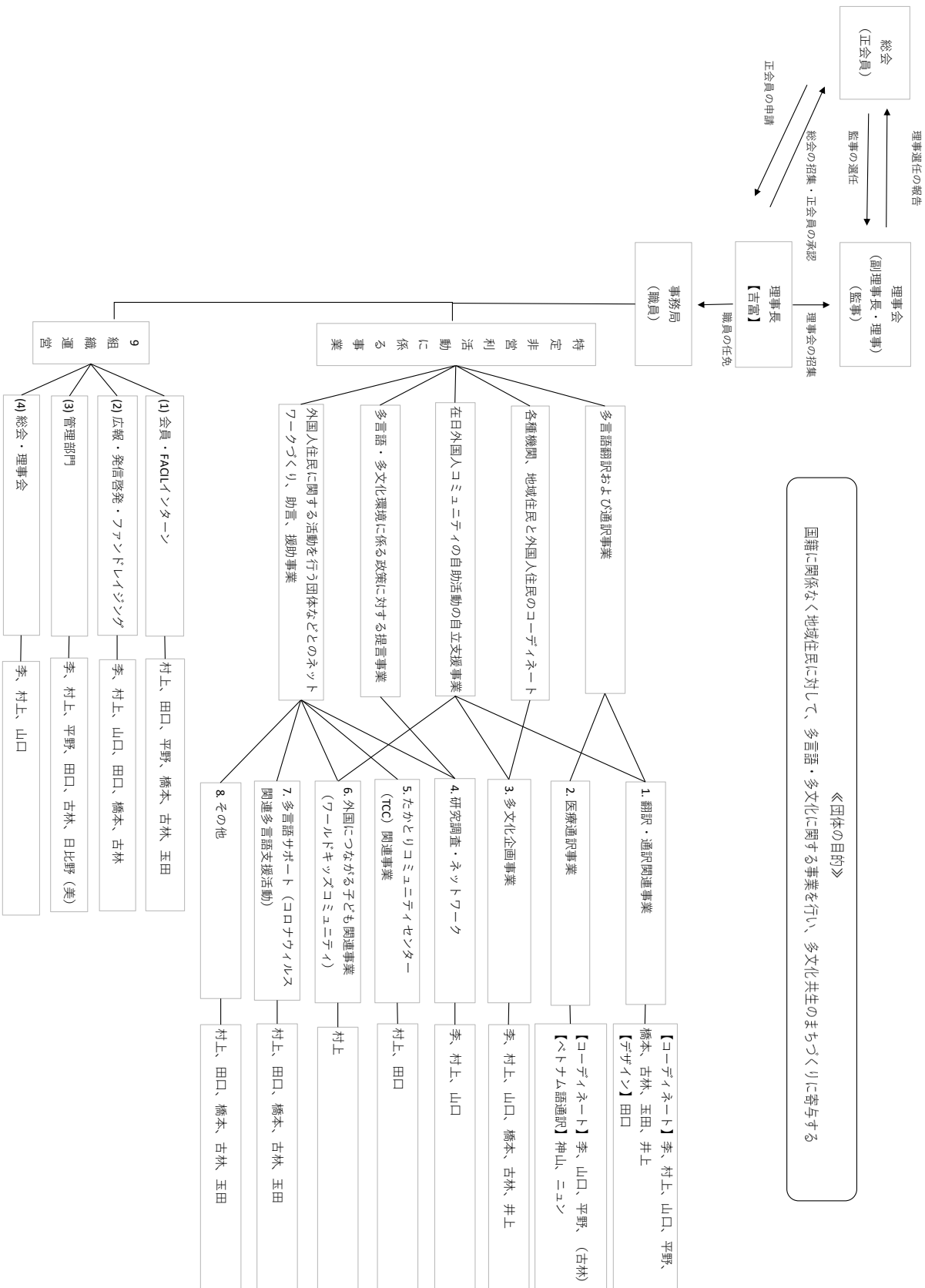
多言語センターFACIL／ワールドキッズコミュニティ

李 裕美	(FACIL副理事長・事務局長)
村上 桂太郎	(ワールドキッズコミュニティ事務局長／FACIL総務部長)
山口 まどか	(FACIL事務局次長)
田口 靖幸	
平野 由美子	
橋本 由里	
古林 みどり	(非常勤)
玉田 なつみ	(非常勤)
神山 満月	(非常勤)
ブイ ティ ホン ニュン	(非常勤)
日比野 美耶子	(非常勤)
平野 悟	(非常勤)
井上 稚菜	(非常勤)

雇用外

吉富 志津代	(名古屋外国語大学世界共生学部教授)
	(FACIL理事長／ワールドキッズコミュニティ代表)

多言語センターFACIL組織・事業・担当職員図2021



1. 翻訳・通訳関連事業

<業務総括>

通訳の依頼件数・受注金額ともに大きく増えた。コロナ禍でZoomやMicrosoft Teamsを使った遠隔通訳の利用が広がったためと、対面での通訳依頼も戻りつつあるためである。医療通訳のシステム参加外医療機関からの依頼は昨年度に続き大幅増である。コロナ禍においてDVや子どもの虐待の増加が報道されているが、神戸市こども家庭センターからの通訳依頼も昨年度と比べ3.5倍になり、日本社会の問題と連動していることがわかる。日本社会を支える外国にルーツを持つ人々がただの「労働力」ではなく「地域に暮らす住民」であることの表れといえる。受注金額の増加は神戸市コロナワクチン接種会場における通訳派遣業務によるものである。医療通訳事業で医療現場での通訳の必要性を説き続けてきたことが、ワクチン接種会場にも通訳が必要という認識を呼び、これまで培ってきた市内唯一の医療通訳実施団体としての実績が評価され依頼に結びついた。

翻訳については、全体の件数は昨年度より21件減り、2年連続減少した。しかし、受注金額はほぼ同等に維持できた。これは昨年度に続き、他社があまり扱わない言語も含めた多言語翻訳や翻訳からナレーションまで一括受注の大型案件を受注したためである。

FACILの支柱である翻訳・通訳関連事業は日本社会の問題や外国にルーツを持つ住民の状況に連動している。日々の業務のなかでもこの点を意識し、多言語・多文化なまちづくりの実現というFACILのミッションを見失わず、スタッフ一人ひとりが社会に発信しづけることが重要である。

(1) 翻訳・通訳コーディネーターに係る環境整備

- ・遠隔同時通訳の推進のため、Zoom Proの年間契約と、適宜ウェビナーも契約し、依頼者向けの掲示物（英語）を整備した。コーディネーター間で遠隔同時通訳の注意点を共有した。
- ・コロナ禍で導入したテレワーク体制を維持するため、毎週火曜日と水曜日は交代でテレワークとした。
- ・データベースソフトを刷新し、会計ソフトと連携できるようにした。
- ・翻訳・通訳登録者やコーディネーターが、外国人の置かれている立場を社会福祉の視点で理解することを目的に、Zoom研修会「外国人の在留資格と福祉・医療制度」を開催した。（2022年1月16日）
- ・専門分野別の翻訳業者やレイアウト業者など外部委託先を積極的に活用し、受注を落とさないようにした。
- ・利用者や登録者、関係者に向けSNS、インターネット、メールを活用した情報発信を行ったが広報戦略を立てるには至らなかった。
- ・他団体や行政機関等と接点をもつ機会を積極的に増やし、協働事業の提案をした。
- ・新しい知見や人脈を得るため、外部会合や研修などに参加した。
- ・既存の入札参加資格（「全省庁統一一般競争（指名競争）参加資格」等）を必要に応じて更新した。

(2) Web、音声・映像、印刷につながる翻訳事業

①翻訳・ナレーション収録もしくはナレーター派遣

- ・多言語での音声収録やナレーション派遣を含む依頼の件数は20件で前年度（21件）と事業規模も含めてほぼ同等であった。
- ・エンジニアがナレーターとは別室にいても録音できるように収録環境整備の検討を進めたが、年度内の実施には至らなかった。
- ・主に派遣に関するコーディネートの部分は職員間でのノウハウの共有と体制の拡充は十分には進められなかった。

②Web・DTP制作

- ・Web制作はクライアントのサイトを1件新規作成した。
- ・昨年度制作した「コロナで困っている外国人住民のための多言語情報」 (<https://tcc117.jp/facil/covid-ml-info/>) の記事を更新。
- ・DTPに関しては、多言語の防災マップや国際協力団体から防災カードのリニューアル、ブックレット「多文化共生と国際協力」などを請け負って制作した。
- ・WebおよびDTPの制作ツールとしてAdobe InDesign、Adobe XDを導入した。

③Webサイトの保守・管理代行

4件のWebサイトの保守管理を継続業務として請け負った。

(3) その他

①相談機関等での面談・電話通訳

- ・東大阪市男女共同参画センター・イコーラム多言語相談業務
昨年度より遠隔通訳対応も可能とするよう契約内容を変更
コーディネート1件（遠隔通訳、キャンセルにより実施無し）
- ・兵庫県女性家庭センター 外国人相談者に係る通訳
実施3件（ベトナム語）、関連研修会開催時に登録通訳者へ適宜案内
- ・神戸市介護保険コミュニケーション・サポート事業（中国語、英語、スペイン語）
実施なし、関連研修会開催時に登録通訳者へ適宜案内
- ・兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課「兵庫県外国人結核患者指導にかかる通訳者コーディネート業務」
実施なし

- ・神戸市保健福祉局健康部予防衛生課「神戸市結核患者等医療通訳業務」
実施2件（ベトナム語1、ネパール語1）、キャンセル1件（ベトナム語）
- ・西宮市外国人結核患者保健指導にかかる医療通訳
実施なし

②災害・非常時等の翻訳・通訳

- ・神奈川県（有償）「災害時・非常時多言語緊急情報翻訳業務」（11言語）受託契約
実施なし
- ・神奈川県（有償）「新型コロナウイルス感染症に係る情報翻訳業務」（11言語）受託契約
実施12件 / 7言語 / 957,550円
- ・兵庫県国際交流協会（有償）「災害時・非常時多言語緊急情報翻訳業務」（6言語）受託契約。
2022年3月よりウクライナ語追加
実施35件 / 7言語 / 1,799,050円
- ・横浜市国際交流協会「災害時・非常時多言語緊急情報翻訳業務」（13言語）受託契約
実施なし

③年間契約による一般翻訳

- ・芦屋市「公用文翻訳単価契約」受託契約（昨年度までの3言語から9言語に増加）
実施19件 / 11言語 / 799,507円
- ・公益財団法人太平洋人材交流センター（PREX）Webサイト翻訳及び更新（英語）
実施7件（サイト更新1件含む） / 268,950円

④期間契約による通訳

- ・「コロナ陽性者・接触者通訳」神戸市国際課（2021年6月～2022年3月）
実施31件（スペイン語3、韓国・朝鮮語1、ベトナム語10、中国語2、ネパール語2、英語13）
- ・「ワクチン接種会場通訳」神戸市国際課（2021年7月～11月）、ワクチン対策室（2022年1月～3月）
実施2会場 / 延べ101日 / 実施702件（英語147、中国語30、ベトナム語525）
- ・「コロナ外国人診療タブレット貸出」神戸市保健局保健所保健課（2022年1月～3月）
実施4件（ベトナム2、英語1、モンゴル語1）
- ・「技能実習生・特定技能外国人に対する通訳・翻訳対応業務」兵庫県社会福祉協議会（2022年10月1日～3月）
実施5件（ベトナム語）

多言語センターFACIL 2021年度(2021年4月～2022年3月) 一般翻訳通訳・多言語企画事業の状況

※実施事業は、4月1日～3月31日の間に納品完了した医療通訳以外の案件。内容・言語の重複あり。(3月31日時点で代金未収のものを含む)

実施事業（依頼者種別）			
依頼者	件数	金額	(参考：2020年度)
行政	174	¥28,377,141	164 ¥16,209,985
学校・病院・その他施設	157	¥6,627,615	121 ¥5,903,237
民間（企業、団体）	399	¥40,668,666	321 ¥29,217,623
個人	73	¥1,177,185	92 ¥1,744,495
合計	803	¥76,850,607	698 ¥53,075,340

▶前年度より105件増加、23,775,267円増加（受注単価19,665円UP）

実施事業（内容別）		
依頼内容	件数	(2020年度)
翻訳 レイアウト付・文字起こし付含む	477	498
通訳（医療通訳以外）相談窓口通訳・翻訳付含む	245	140
レイアウト（印刷）	5	7
レイアウト（WEB）	12	12
語学講師	1	
ナレーション 翻訳付・動画編集付含む	20	21
講演・研修講師	19	12
その他 ・多文化共生イベント企画（助成金事業含む） ・フィルタ受け入れ ・音声データ文字起こし ・アンケート協力 等	24	8
合計	803	698

登録翻訳通訳者

対応言語

74言語

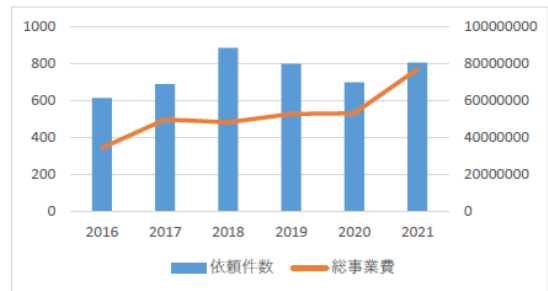
登録翻訳通訳者

1631人

2021年度
発注先

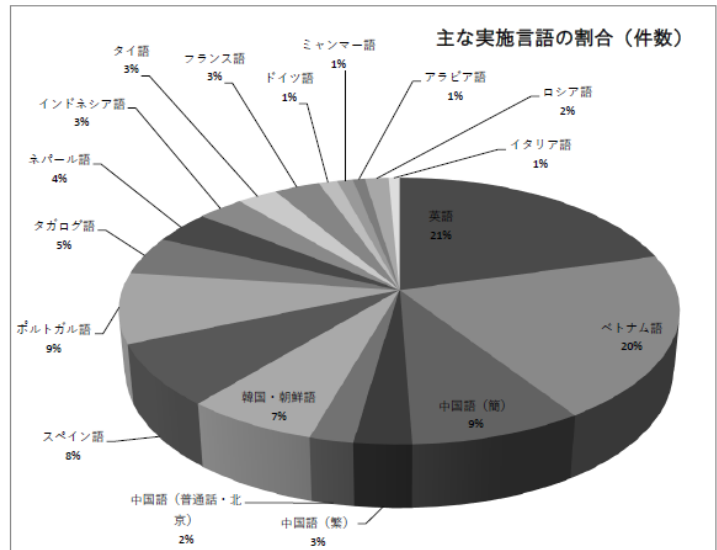
183人/団体

(2020年度より3人増)



実施事業（言語別）		
依頼言語	件数	(2020年度)
英語	331	325
バトナム語	322	253
中国語（簡）	138	132
中国語（繁）	46	54
中国語（普通話・北京）	35	8
中国語（広東語）	6	0
台湾（台語）	6	4
韓国・朝鮮語	106	129
スペイン語	121	106
ポルトガル語	137	102
タガログ語	74	58
ネパール語	63	51
インドネシア語	50	49
タイ語	43	45
フランス語	49	43
ドイツ語	20	20
ミャンマー語	17	19
アラビア語	13	19
マレー語	9	18
クメール語	5	16
ロシア語	25	15
モンゴル語	3	12
ヒンディー語	4	8
イタリア語	12	7
シンハラ語	4	6
ラオ語	2	1
ウルドゥ語	7	0
ウクライナ語	4	0
その他（ウズベク、エストニア、タミル、マリ、パシュトゥン、フィンランド、ベルシャ、ベンガル）	10	6
日本語	106	59
合計	1768	1565

▶前年度に続き希少言語を含む多言語化が進む。（ウルドゥ語、ウクライナ語など）



*日本語には「やさしい日本語」、日本語による講演、ヒアリング、言語以外の作業を含む。
*2020年度「その他」に含まれる言語＝スワヒリ語、ウズベク語、ウルドゥ語、ベルシャ語、ピサヤ語

実施事業例（受注金額20万円以上の案件）

■翻訳、通訳

区分	実施内容	依頼者	言語
翻訳	三井寺 文化財多言語解説情報「勸学院客殿障壁画」補足資料 翻訳(17言語)	企業 (デジタル事業)	中(簡)・中(広)・中(繁)・韓・ベトナム・西・葡・独・露・仏・伊・インドネシア・タイ・マレー・ヒンディ・タガ・アラ
	【経営や起業に関する在留資格とライフプラン】セミナー資料JA-EN, VN	(公財) かながわ国際交流財団	英・ベトナム
	三井寺 文化財多言語解説情報 追加項目翻訳(11言語)	企業 (デジタル事業)	韓・ベトナム・西・仏・インドネシア・タイ・マレー・ヒンディ・アラ
	臨時特別給付金関連文書2種	三木市	英・中(簡)・ベトナム・西・葡・アラ
	兵庫県 災害時・非常時多言語緊急情報翻訳業務	(公財) 兵庫県国際交流協会	英・中(簡)・韓・ベトナム・西・葡
	文書「職員の使命と心得」10言語	出入国在留管理庁	英・中(簡)・中(繁)・韓・ベトナム・葡・タガ・タイ・インドネシア・ネパール
	外国人住民向けアンケート用紙(10言語)	(公財) かながわ国際交流財団	英・中(簡)・韓・ベトナム・西・葡・タガ・インドネシア・タイ・ネパール
	防災に関するアンケート	奥州市国際交流協会	英・中(繁)・韓・ベトナム・タガ・インドネシア
	土佐市ゴミ分別ポスター	土佐市	英・中(簡)・韓・ベトナム・インドネシア
	高山寺 多言語解説情報 補足資料 翻訳(9言語+2言語)	企業 (デジタル事業)	中(繁)・中(簡)・韓・ベトナム・西・仏・伊・独・インドネシア・タイ・マレー
	災害時多言語翻訳シミュレーション 訓練模範解答	(一社) 東京都つながり創生財団	英・中(簡)・中(繁)・韓・ベトナム・西・葡・仏・タガ・ネパール
	「神戸学校」講演録文字起こし・写真選択2021.2.26-27.9本 JA-JA	企業 (ダイレクトマーケティング)	日
	多文化共生バスポート等	小林市	英・中(簡)・ベトナム・タガ・ミャンマー
	チョコレートミュージアム図録	企業 (ダイレクトマーケティング)	英
	〇リングカタログ	企業 (広告)	英
	アンケート翻訳	企業 (公共セクター関連事業)	英・中(簡)・韓・ベトナム・タガ・インドネシア
	神戸大学病院動画テロップ	神戸大学医学部附属病院	英・ベトナム・西・葡
	【概要】ひょうご多文化共生社会推進指針翻訳	兵庫県産業労働部国際局	インドネシア・タガ・タイ・ネパール
	コロナワクチン接種予約案内Web/メール	各務原市	英・中(簡)・ベトナム・葡・タガ
	赤ちゃんが生まれたときの手続き(7言語)	(公財) かながわ国際交流財団	ベトナム・西・葡・タガ・タイ・インドネシア・ネパール
	乳幼児の健診資料の翻訳JA-VN	福知山市	ベトナム
	「年金制度について学ぼう!」セミナー資料(5言語)	(公財) かながわ国際交流財団	英・中(簡)・タガ・ベトナム・ネパール
	外国語生活ガイドブック2種	加東市	ミャンマー
	豊中市外国人住民アンケート	企業 (調査)	英・中(簡)・韓・ベトナム・ネパール
	KICCWebページ翻訳TW	(公財) 神戸国際コミュニティセンター	中(繁)
	講義の記録資料JA-EN, ES, CN	(公財) かながわ国際交流財団	英・中(簡)・西
	愛知県外国人県民アンケート8言語	企業 (調査)	英・中(簡)・ベトナム・西・葡・タガ・インドネシア・ネパール
	高山寺 多言語解説情報 翻訳(9言語)	企業 (デジタル事業)	韓・ベトナム・西・独・仏・伊・インドネシア・タイ・マレー
	飼養衛生管理マニュアル	岐阜県	中(簡)・ベトナム・葡
	三井寺 文化財多言語解説情報 翻訳(6言語)	企業 (デジタル事業)	中(広)・タガ・葡・伊・独・露
新型コロナウイルス感染症自宅療養者配布資料	岐阜県	英・中(簡)・中(繁)・タガ・ベトナム・葡	
法テラスWebページやさしい日本語	日本司法支援センター (法テラス)	日	
神戸大学病院文書	神戸大学医学部附属病院	英・中(簡)・ベトナム・西・葡	
三井寺 文化財多言語解説情報(1~22) 新規追加6言語補足資料 翻訳	企業 (デジタル事業)	中(広)・タガ・独・露・伊・葡	
CLAIR 在留外国人向け防災行動計画制作ツール 翻訳14言語	(一財) 自治体国際化協会	英・韓・中(簡)・中(繁)・ベトナム・西・葡・仏・露・タガ・インドネシア・タイ・ネパール・ミャンマー	
大津市 史跡・名所 解説・アナウンス原稿(7言語) 翻訳	企業 (デジタル事業)	英・中(簡)・中(繁)・韓・仏・露・タイ・日	
動画「外国人高校生キャリア教育支援事業 先輩の講話」文字起こし・翻訳	(公財) 岐阜県国際交流センター	日・タガ・ベトナム	
翻訳 レイアウト(印刷)	外国人のための生活ガイド「ハンズオンヘジ」日葡併記版 翻訳および版下 改訂作業	企業 (印刷)	葡
翻訳 ナレーション	KICC防災カード 防災カード更新	(公財) 神戸国際コミュニティセンター	英・中(簡)・中(繁)・韓・ベトナム・西・葡・タガ・タイ・インドネシア・ネパール
	多様な避難の手引き(5言語) 翻訳レイアウト	兵庫県産業労働部国際局	中(簡)・韓・ベトナム・西・葡
	川西市ごみの分け方・出し方 分別冊子一覧表	企業 (印刷)	英・中(簡)・葡・日
	加古川市総合防災マップ6言語翻訳	(公財) 加古川市国際交流協会	英・中(簡)・韓・ベトナム・西・葡
	石見神楽演出 翻訳・ナレーション	鳥根県西部県民センター	中(簡)・中(繁)・中(普)・台湾(台語)・仏・独
石見神楽演出 翻訳・ナレーション	鳥根県西部県民センター	中(簡)・中(繁)・中(普)・台湾(台語)・仏・独・日	
「三菱創業150周年記念 三菱の至宝展」音声ガイド	企業 (音声ガイド)	英	
宿坊のプロモーション動画 台本翻訳・ナレーション	企業 (IT)	英・中(普)・中(簡)・西・仏・日	
外国人患者向け 入院案内動画 制作	小田原市立病院	英・中(簡)・中(普)・日	
翻訳 通訳	ながたのこもりうた	(特非) DANCE BOX	韓・ベトナム・インドネシア・ミャンマー・インドネシア・タガ
通訳	コロナ陽性者・接触者通訳	神戸市	英・中・韓・ベトナム・ネパール・西
	神戸市ワクチン接種通訳会場3回目	神戸市	英・中(北)・ベトナム
	神戸市ワクチン接種通訳会場	神戸市	英・中(北)・ベトナム

■コンテンツ制作など（ナレーション、印刷、Webサイト）※通訳を伴わない案件

レイアウト(WEB)	ホームページ記事統合作業	法律事務所	日
	ホームページ保守(年額:2021年1月1日~12月31日)	法律事務所	日
ナレーション	ホームページリニューアル	(特非) アジア女性自立プロジェクト	日
	労災特設サイト 作成	法律事務所	日
	住友電工人事研修動画 ナレーション収録(5言語)	企業 (通訳翻訳)	ベトナム・西・葡・タイ・インドネシア・日
	高山寺・三井寺音声コンテンツ ナレーション 収録(計18言語)	企業 (デジタル事業)	英・中(広)・中(普)・台湾(台語)・韓・ベトナム・西・葡・伊・仏・独・露・インドネシア・マレー・タイ・タガ・ヒンディ・アラ
	大津市 史跡・名所 解説・アナウンス原稿(7言語) ナレーション	企業 (デジタル事業)	英・中(繁)・中(普)・仏・露・タイ・日
	「コミュニティラジオと防災」インドネシア語版	(特非) エフエムわいわい	日

■講師、多文化企画など ※主ではないが一部に通訳を伴う案件を含む

講演・研修講師	国際看護実習Ⅱ	学校 (私立大学)	日
その他	神戸PRアンバサダー2021	神戸市	日・英

2. 医療通訳事業

<業務総括>

2020年4月からの新実施要領による施行、遠隔通訳導入がシステム参加の基本条件になって2年目。参加医療機関は前年度から1病院増加（市立加西病院）。

医療通訳システム事業での実施数はトータルで前年より微増。遠隔通訳の利用が増えつつあり、遠隔対応が約20%増加、同行が約10%減少。前年と同様、コロナ禍により患者が通院を控える現象が続き微増にとどまったと推測する。導入促進に関しては、実際に医療機関を訪問することがはばかれる状況にあるため、問い合わせがあった病院への電話での説明や資料送付、KIMF（神戸万国医療財団）寄付金利用医療機関への「利用確認書」送付等、地道な啓発活動に限定された。

言語はこれまでと同様に、遠隔通訳・同行通訳ともにベトナム語、英語（ネイティブ言語＋第二言語）、中国語の利用が多い。近年は希少言語（アラビア語、ウルドゥー語など）や、登録者数の少ない言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語など）の依頼も増えつつある。そのためさらなる遠隔通訳（電話対応も含む）の利用促進・啓発活動、通訳者の確保・育成が望まれる。

検証会は、感染予防の観点からZoom開催とした。遠方の医療機関の担当者も出席しやすいというメリットもあったと考えられる。内容は実施状況の確認、遠隔通訳の利用促進要請等を行った。特筆すべき点としては、システム参加費の改定を提案し、後日各医療機関の了承を得られたことである。システム参加費は同行通訳の実施数を基に算出するため、遠隔通訳導入に伴い金額が激減した。しかし同行通訳のコーディネートにかかる負担は依然として続いていること等に関係各位にご理解いただき、2022年4月1日からシステム参加費の増額を盛り込んだ実施要領に改訂することが決定した。

遠隔通訳の協力企業である株式会社東和エンジニアリングの都合により、FACIL事務所に常駐するベトナム語通訳者の勤務時間が短縮されていたが、全国的にベトナム語通訳の依頼が増大しており、時間変更がなされた。（9:00～15:30 → 9:00～17:30）ネパール語も需要が拡大しつつあり、ビデオ対応が追加された。

そして、公益財団法人兵庫県国際交流協会（HIA）「令和3年度医療機関における外国人患者受入環境整備助成事業」の助成300万円、一般財団法人寺山財団より頂戴した寄付金800万円を活用し、遠隔通訳実施に伴う管理、導入促進・啓発等の普及活動、通訳者向け研修開催、外部団体主催研修会参加費の補助、コーディネート及び遠隔通訳業務を円滑にするための環境整備等を行った。

(1) 医療通訳システム事業

兵庫県国際交流協会（HIA） 医療機関における外国人患者受入環境整備事業
（医療通訳コーディネート：100万円、遠隔通訳の導入促進および実施：200万円）

寺山財団寄付（800万円）を含む

①実績

- ・実施数は、遠隔通訳423件、同行通訳293件。※2020年度は遠隔通訳362件、同行通訳333件。

（詳細は「2021年度医療通訳実施件数集計（遠隔・同行）」参照）

- ・参加医療機関（8病院）

神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院

神戸市民病院機構 神戸市立医療センター西市民病院

神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター

神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院

神戸大学医学部附属病院

兵庫県立こども病院

北播磨総合医療センター

市立加西病院（※新規参加）

- ・2021年度システム参加費合計615,230円（2020年度 1,484,615円）

（システム参加費は同行通訳実績を基に算出するため、遠隔通訳への移行が進むことにより減少する）

2021年度 医療通訳実施件数集計(遠隔)
(2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 通訳総件数 423 件

2. 月・病院別

	中央市民病院	神戸アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	北播磨総合医療C	神大病院	県立こども病院	市立加西病院	計
4月	6	1	33		1	1		2	44
5月	3		32			4	1		40
6月	4		30				3		37
7月	5		17			2	2		26
8月	8		21		1	1	1		32
9月	6		36			1		1	44
10月	5		41						46
11月	6		27			1		1	35
12月	2		23			2	1	2	30
1月	3		18					2	23
2月	4		25		1	1		1	32
3月	4	2	26					2	34
計	56	3	329	0	3	13	8	11	423

3. 言語・病院別

	中央市民病院	アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	北播磨総合医療C	神大病院	県立こども病院	市立加西病院	計
ベトナム	17		296		1	6	7	10	337
中/北京	24	3	1			2		1	31
英語	15		25			2	1		43
スペイン						3			3
ポルトガル					2				2
韓国朝鮮									0
ロシア									0
タイ									0
インドネシア									0
タガログ									0
モンゴル									0
ネパール			7						7
ミャンマー									0
クメール									0
マレー									0
イタリア									0
ドイツ									0
フランス									0
計	56	3	329	0	3	13	8	11	423

4. 診療科別

受診科	中央市民病院	アイセンター病院	西市民病院	西神戸医療C	北播磨総合医療C	神大病院	県立こども病院	市立加西病院	計
総合内科	4				2				6
総合診療科									
循環器内科			4						4
消化器内科	2		4			1			7
呼吸器内科	1		3						4
腎臓内科	1		9						10
血液内科/血液腫瘍内科 /免疫血液内科									0
糖尿病・内分泌内科			34			2			36
感染症科									0
神経内科								1	1
精神・神経科	12								12
婦人科・産婦人科	11		264			2	3		280
小児科	2		22						24
形成外科									0
整形外科	2		2			1		1	6
乳腺外科									
乳腺内分泌外科			1						1
心臓外科	4								4
心臓血管外科									
脳外科・脳神経外科	7						2		9
外科									0
泌尿器科			5			3		6	14
眼科		3							3
皮膚科			1					1	2
耳鼻咽喉科	2		1		1	1	1		6
歯科・歯科口腔外科									0
麻酔科			1			3			4
検査	2								2
化学療法室									0
救急外来/ER									0
集中治療室							1		1
受付・事務手続き・会計 (入退院時含む)	10		4			1		3	18
その他(未回答含む)	11		1				1		13
計	71	3	356	0	3	14	8	12	467

※1件で複数の診療科等での利用があるため計は病院別と異なる。
その他:脳神経内科、呼吸器外科、新生児科(中央市民病院)

2021年度 医療通訳実施件数集計(同行)
(2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 通訳総件数 293 件

(患者数: 82名)

2. 月・病院別

	中央市民病院			アイセーター病院			西市民病院			西神戸医療C			神大病院			県立こども病院			北播磨総合医療C			市立加西病院			計		
	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無			
4月	9									3			9			4									25		
5月	10	1								4			4	1	1										20		
6月	11		1							3			6		1	1									21		
7月	10	1								5			6				1	1							23		
8月	13	1	1							8	3		8	2		3		2							38		
9月	11		1							3			9			1									24		
10月	6									3			6	1	1	3			2						21		
11月	5	1	1							2	1		8		1	2			1		1				21		
12月	12	1								5			5			4									27		
1月	6	3	2							4			6			1									20		
2月	8		2							2			7		2	4	1								22		
3月	15	1								3			7	1		4									31		
計		125	8			0	0			0	0		49	0		86	6			29	3		3	1	0	0	293

※電話対応も含む。

3. 言語・病院別

	中央市民病院			アイセーター病院			西市民病院			西神戸医療C			神大病院			県立こども病院			北播磨総合医療C			市立加西病院			計		
	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無	派遣	キャンセル	無			
ベトナム	31	1											16	4	1											52	
中/北京	37	4	5										28		2	1										70	
中/広東	15		2																							15	
英語	10	2								16	2		19		1	5		2								54	
スペイン	12	2											3													17	
ポルトガル													1		1	4	1	1								6	
韓国朝鮮	2																									2	
ロシア													1													1	
タイ																										0	
インドネシア	1															2										3	
アラビア	1									29	2		2		1	8			3		1					46	
タガログ																										0	
モンゴル													1													1	
ネパール													6	1												7	
ヒンディー	1																									1	
ウルドゥー	1												2													3	
イタリア													2			7	1									10	
フランス	5		1																							5	
計		125	8			0	0			0	0		49	0		86	6			29	3		3	1	0	0	293

※キャンセル：キャンセルとなり、キャンセル料金発生

※無：キャンセルとなったが、キャンセル料金発生なし(合計件数に含まない)

4. 診療科別

受診科	中央市民病院	アイセーター病院	西市民病院	西神戸医療C	神大病院	県立こども病院	北播磨総合医療C	市立加西病院	計
総合内科	1				2	2			5
総合診療科				2	4	2			16
循環器内科	8				4				36
消化器内科	32				4				7
呼吸器内科	6				1				1
腎臓内科						1			9
血液内科/血液腫瘍内科 /免疫血液内科	4				5				7
糖尿病・内分泌科	6					1			1
神経内科	1								1
精神・神経科	1				8				9
婦人科・産婦人科	37			40	10	2			8
小児科	4			3	1				0
形成外科									27
整形外科	4				14	9			8
乳腺外科	6			1	1				2
乳腺内分泌外科									0
心臓外科									0
心臓血管外科	1				1				10
脳外科・脳神経外科									14
外科	7				3				17
泌尿器科	2				11	1			0
眼科					13		3		2
皮膚科									6
耳鼻咽喉科					2				2
歯科・歯科口腔外科	2				3	1			2
麻酔科	1					1			0
化学療法室									0
救急外来/ER									19
その他	6				3	10			
計	129	0	0	46	86	31	3	0	295

※1件で複数の診療科に受診した日があったため計は病院別と異なる。

※通訳総件数にはキャンセル料が発生した件数も含まれるため、診療科別計との数が等しくはない。

※その他: 脳神経内科、感染症科(中央市民病院)、膠原病リウマチ内科、脳神経内科(神大病院)、アレルギー内科、代謝・内分泌科、GCU 新生児回復室、新生児内科、小児外科(こども病院)

②検証会議（8月18日（水）Zoom開催）

コロナウイルス感染等状況を鑑み、Zoom開催であった。2020年度実績報告、2021年度の対応状況の聴取、遠隔通訳の利用促進（特にコロナの影響や緊急時等、電話利用）を要請。システム参加費増額の提案を行った。（後日、各医療機関の了承を得ることができ、実施要領を改訂）

出席者：神戸市民病院機構（神戸市立医療センター中央市民病院、同 西市民病院、神戸市立西神戸医療センター、神戸市立神戸アイセンター病院、法人本部経営企画室企画財務課）、兵庫県立こども病院、神戸大学医学部附属病院、市立加西病院、兵庫県 産業労働部国際局国際交流課地域国際化班、兵庫県国際交流協会 事業推進部多文化共生課、神戸市 市長室国際部国際課、東和通訳センター 計25名

③医療機関等への説明

- ・兵庫県立丹波医療センター（2021.8、電話・資料送付）
 - ・兵庫県産業労働部国際局長－兵庫県全域における遠隔医療通訳導入にむけての提案（2022.3.18）
- ※コロナの影響（施設内に入れる人数制限など）で積極的に直接訪問できる環境にはなかった。

④登録通訳者向け医療通訳研修「外国人の在留資格と福祉・医療制度」企画、開催（2022.1.16）

昨年度に引き続き、コロナウイルスの感染等状況を鑑み、Zoom開催であった。講師及び参加者も海外在住者を含め延べ43人が参加。医療通訳の現場で欠かせない外国人の在留資格と福祉・医療制度等を学ぶ有意義な研修となった。

⑤医療通訳者の育成

- ・東和通訳センターMedi-Way勉強会（Zoom、毎月1回、全12回）
- ・一般社団法人全国医療通訳者協会（NAMI）
「CHIP (Critical Healthcare Interpreters' training Program) 研修」追加受講料補助
（ネパール語：課程修了）
- ・一般社団法人日本公共通訳支援協会（Cots）
「公共通訳塾・医療通訳教室」受講料補助
（ベトナム語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、英語）
第1回（2021.6.6, 6.12, 6.16, 6.23, 6.30, 7.4, 7.25）
第2回（2021.10.9, 10.16, 10.23, 10.31, 11.14）
- ・一般社団法人日本医療通訳協会（MIAJ）
「医療通訳技能検定」合格者の受験料補助（ベトナム語 1級、2級）
- ・国際臨床医学会（ICM）認定医療通訳士 実務者認定
認定手続き補助（英語、中国語、ベトナム語）

⑥コーディネーター業務及び遠隔通訳業務を円滑にするための環境整備

- ・通訳者席にキヤスター・鍵付きキャビネット購入
- ・通訳者及びコーディネーター用にヘッドセット・電話機の購入

- ・医療通訳者の健康管理および業務管理のため、抗原検査キットを30本購入
- ・遠隔通訳の依頼に対応するためZoom Proを年間契約し、ベトナム語、インドネシア語、ペルシャ語の通訳者に使い方のガイダンスを実施

(2) Kobe International Medical Foundation (KIMF/神戸万国医療財団2020年10月～2022年1月/100万円、2022年2月～/100万円 [2021年11月9日受領])

2020年度受領の100万円のうち2021年4月時点の残額で運用。システムに参加していない医療機関等での寄付金利用は、通訳料金を負担しているシステム参加医療機関との不公平が顕著であることから、年度当初は2020年度と同様にシステム参加の有無にかかわらず、ともに生活保護費受給者の患者に限定して寄付金を適用していたが、実施件数が極端に減少したこともあり、10月以降は「生活保護費受給者の患者」という条件を取り払い運用することにした。参加外医療機関で寄付金による通訳利用があった際には、医療機関担当者の署名による「寄付金利用書」を提出してもらうこととしている。（実施数は「KIMF 2021年度医療通訳派遣数集計」参照）

使用用途

- ・医療通訳システム事業参加医療機関以外への医療通訳派遣（同行通訳：病院負担分、電話通訳・患者が生活保護費受給者のときは全額負担）
- ・生活保護費受給者の参加医療機関での医療通訳料金患者負担分免除（遠隔通訳・同行通訳とも）
- ・遠方から赴く通訳者の交通費補助（往復1,000円を超えた分、参加医療機関も含む）
- ・これらに係るコーディネート費、寄付金利用医療機関への利用書送付・受領に係る通信費

KIMF 2021年度(2021.4.1~2022.3.31) 医療通訳派遣数集計

協定外病院 176 生活保護受給者への支援 60 交通費補助 56

月別実施数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①	3	1	1	1	2	3	8	11	14	13	13	16	86
②	3	1	1	1	2	3	1	2	2	2	2	1	19
③						1				45			71
④	1	5	2	1	2	8	3	4	2	4	2	7	41
⑤	6	2	3	4	10	3	6	6	5	4	2	5	56
(重複)	(3)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(2)	(2)		(1)	(19)
計	10	8	6	6	15	14	17	21	21	66	17	53	254

言語別実施数

	スペイン語	ポルトガル語	中国語(広東)	ベトナム語	中国語(標準)	英語	中国語(北京)	フランス語	韓国語	タイ語	中国語(福建)	インドネシア語	フィリピン語	ヒンディー語	計
①	24	28	3	14	6	7	2	2							86
②	11		2		6										19
③	70														71
④	15		22		1	3									41
⑤		45			1	4	3								56
(重複)	(11)		(2)		(6)										(19)
計	109	45	28	25	14	8	7	7	6	2	1	1	1	254	

医療機関別実施数

協定病院		協定外病院														件数計											
①	②	③	④	⑤	(重複)	計	神戸市立 医療センター 市民病院	神戸市立 医療センター 兵庫南 総合病院	神戸市立 医療センター 西宮 市民病院	神戸市立 北播磨総合 医療センター	岡本カトリック 病院	神戸市立 平井眼科 病院	神戸市立 平野アクト 病院	多摩川クリニック	ココロのクリニック	森寺内科 耳鼻咽喉科	なかむら 眼科	竹田内科	仁木医院	船場眼科	兵庫風立 総合病院	水谷皮膚科 病院	新瀬眼科 病院	たにぐち 不眠医院	津波眼科 病院	協定外病院 電話番号	件数計
						26																					86
						11																					19
						7																					41
						6																					56
						(11)																					(19)
						26																					254

【区分】
 ①協定外病院同行通訳 病院負担分3500円＋コーディネーター2500円 (6000円)
 ②協定外病院同行通訳 病院負担分3500円＋生活保護受給者負担分2500円＋コーディネーター2500円 (8500円)
 ③協定外病院電話番号通訳 病院及び患者負担分30分まで2500円/30分超え5000円＋コーディネーター2500円 (5000円/7500円)
 ④協定外病院の生活保護受給者負担分 通訳1500円/同行2500円
 ⑤交通費補助：通訳者交通費(往復1000円超過分)

3. 多文化企画事業

(1) 研修企画、講師派遣・紹介等

① 職員の講師派遣等

実施日	内容	依頼元
4月15日	地域コミュニティ入門ゲストスピーカー2021 「ソーシャルビジネスとしての多言語・多文化事業 ー多文化共生のまちづくりを目指してー」	神戸学院大学
5月26日	タブマネサロン 「翻訳・通訳ーコーディネーターの目線からー」	NPO法人多文化共生マネージャー 全国協議会
5月27日、 6月3日	国際看護実習Ⅱ 医療通訳に関する講義、やさしい日本語ワークショップ	大手前大学国際看護学部
6月17日	ゲストスピーカー講師2021 「多文化なまちづくりを目指して ー翻訳・通訳コーディネーターの目線からー」	神戸市外国語大学
6月29日	やさしい日本語ワークショップ	大阪市立学校事務長会
7月5-8日	統合看護実習(国際看護学) たかとりコミュニティセンター、FACIL、医療通訳、多言語サ ポートについて	関西国際大学
7月26-30日、 8月2-6日	国際看護実習Ⅰ たかとりコミュニティセンター、FACIL、医療通訳、多言語サ ポートについて	大手前大学国際看護学部
8月6日	TCCフィールドワーク受入@ZOOM たかとりコミュニティセンターについて	神戸大学国際人間科学部
8月10日- 10月18日	インターンシップ受入 たかとりコミュニティセンター、多言語サポート、医療通訳に ついて	甲南女子大学
9月25日	医療通訳育成研修	(公財)三重県国際交流財団
10月19日	大手前大学FD研修 「やさしい日本語 ～人間尊重のコミュニケーション～」	大手前大学
11月3日	甲南女子大学ソーシャルビジネスゲスト講師 「ソーシャルビジネスとしての 多言語・多文化事業 ー多文化共生のまちづくりを目指してー」	甲南女子大学
12月1日	京都外国語大学ゲストスピーカー講師 「多言語センターFACILについて」	京都外国語大学
12月 6,13,20日	講義出講 人権教育科目009 「滞日外国人児童について」	関西学院大学
12月17日	例会での講演 「多文化共生の地域社会をめざして (多言語センターFACILの活動から)」	大阪ローターアクトクラブ
1月18日	「共生社会実現に寄与する地域活動の研究 ー阪神大震災以降の課題」	関西国際大学
1月26日	インターン活用について	(特非)大阪NPOセンター
2月5日	やさしい日本語研修会	(公財)京都府国際センター
2月19日	2021年度災害時通訳ボランティア研修フォローアップ研修	(公財)神戸国際コミュニティセン ター
2月21日	国際社会体験演習 たかとりコミュニティセンターについて	東洋大学
2月23日	医療通訳システム構築事業の経緯	(特)国際交流の会とよなか
3月2日	コミュニティ通訳講義とWS	(特)国際交流の会とよなか
3月2日	外国人受入れと社会統合のための国際フォーラム	外務省領事局外国人課

②研修・実習等

	時期等	人数
関西国際大学	統合看護実習（国際看護学）（7/5~7/8）	4名
大手前大学	国際看護学実習Ⅰ（7/26~7/30、8/2~8/6）	11名（5名+6名）
甲南女子大学	1人あたり5時間×6日（8月~10月）	3名
合計		18名

(2) JICA関連事業

本事業は特にコロナ禍の影響を大きく受け、事業進捗は厳しい状況であった。

①JICA課題別研修

昨年度（2020年度）には、かねてからFACILが提案している新たな課題別研修「多様性と社会参画」が、JICA関西の方針により「責任ある外国人材の受入れと帰国後の活躍の支援制度の改善」として技能実習生に焦点をあてるかたちで進めることとなったが、2021年度その話は進んでいない。また、「多様性と社会参画」の実現へ向け「多様性を力とするまちづくり」をコマとしてあらゆる分野のJICA研修に入れていく方針であったが、その機会はなかった。とはいえ、JICAが多文化共生事業に参画をしたことにより、JICA関西からの研修企画への協力やアドバイスなどでの関係性は深まっている。

②日系社会研修員受入事業（多文化共生推進/日系協力型）

FACILとひょうごラテンコミュニティ協働で2022年度の研修を提案し、採択された。各国から多数研修希望者の応募があり、JICA在外事務所での国内選考の結果、5名の応募者が提示され、その中からFACILとひょうごラテンコミュニティにて1名を選考した。コロナの状況悪化により2022年5月に予定されていた研修員の来日が7月に延期されたが、2023年3月まで1名を受け入れ研修実施予定である。

③ボリビア草の根案件申請準備

吉富がトヨタ財団事業及び科研事業として継続して関わりを持っているサンタクルスのおキナワ村にてJICA草の根事業を実施すべく、申請に向けた準備活動を進めてきたが、コロナの影響にて現地への渡航ができずストップしている状態である。

(3) 2021年度神戸市「神戸 PRアンバサダー」事業運営業務

公募型プロポーザルで3社のうち第1位となり受託。共通言語：英語、アンバサダー：52名

- ・公式SNSアカウント管理運営（2021年度 Facebook全投稿数1,678件、Instagram全投稿数2,034件、Twitter全投稿数275件）
- ・公式SNSフォロワー数の引き上げ
Facebookフォロワー数：10,778人→15,378人（2022年3月末）
Instagramフォロワー数：1,564人→1,755人（2022年3月末）
Twitterフォロワー数：966人→1,055人（2022年3月末）
- ・SNS広告配信（Facebook：2022年1月18日～2月2日、Instagram：2022年1月19日～2月3日）
- ・ニュースレター配信（月1回、全11回配信 ※2021年4月-5月は合併号）
- ・I LOVE KOBE動画Vol.1～3制作（神戸PRA公式FacebookにVol.1: 7/7、Vol.2: 7/16、Vol.3: 7/26投稿、任命式に市役所1階の液晶画面で放映）
- ・新アンバサダーへのZoom説明会（2021年4月6日 & 4月9日）
- ・任命式（2021年7月20日@神戸市役所1号館14階大会議室）
- ・オフィシャルツアー1「秋の芋ほり」（2021年10月23日@神戸市観光園芸協会 小東野農園）
- ・オフィシャルツアー2「1.17復興の長田のまち歩き」（2021年12月5日）
- ・オフィシャルツアー3&4「神戸ベイクルーズ&ポートタワープロジェクトマッピング鑑賞」（2022年1月18日 & 1月22日、※同内容で2回開催）
- ・オフィシャルツアー5「元祖多文化共生！ 北野の歴史探訪・白系ロシア難民と神戸チョコレート」（2022年2月19日）
- ・オフィシャルイベント1「神戸の魅力PRのためのディスカッション」（2021年12月5日@神戸国際コミュニティセンター）
- ・オフィシャルイベント2「グッゲンハイム邸でミュージックセラピー」（2022年1月29日）
- ・終了式（2022年3月30日@神戸国際コミュニティセンター）
- ・PRグッズ制作（サーモボトルをデザイン制作）
- ・次期神戸PRアンバサダー募集及び選考
神戸市およびアンバサダーから信頼を得、応募者は93名に大幅増加、22年度アンバサダーとして82名が選ばれた。

(4) 新電力代理店業務を通じた地域、人、自然が共生する社会を広げる事業

シン・エナジー株式会社とひょうごラテンコミュニティとともに、ことばの壁により電力自由化にともなうサービスを受用できない住民のために電力会社の切替えをサポートする事業を行った。コロナ禍のため思うように広報できず、新規契約者は2名にとどまった。

(5) 世界の食とおもてなしサービス

シン・エナジー株式会社からの依頼で「ペルーのお話×ペルー料理」の会を2022年1月28日に開催。ひょうごラテンコミュニティの大城ロクサナさんによるお話とペルーの飲み物と食べ物（ペルービール、インカコーラ、エンパナーダス、アルファフォーレス）を一人分ずつパックにして神戸本社・東京支社・九州支社に送付した。当日は神戸本社に赴き、神戸本社・東京支社・九州支社をオンラインでつなぎ、シン・エナジー社員の有志の方々と交流した。

(6) 六甲アイランド基金「外国にルーツを持つ住民のキャリアパス：多文化共生社会の仕事づくり」

日本社会で仕事を得るチャンスや選択肢が限られ、多くを自助努力によっている外国にルーツを持つ住民の現状と、彼らの努力を多くの人に知ってもらい、これからの地域社会を支える多様な文化背景をもつ子どもたちの将来のひとつのロールモデルとしてもらうために、外国にルーツを持つ翻訳・通訳登録者5名に、キャリアパス（どのようにして語学力を培ったのか、翻訳・通訳という仕事にいかにしてコンタクトしたのか、仕事に対する考え方、仕事を通して地域社会・日本社会へのコミットメントなど）について各人にお話をうかがった内容をまとめたインタビュー集を制作、ホームページ上で公開した。

(URL: <https://tcc117.jp/facil/honyakusya.html>)

4. 研究調査・ネットワーク

(1) 執筆

吉富

- ・『兵庫教育』11月号、兵庫県教育委員会、2021年11月
「地域の多様な子どもたちの学び合いー互いに尊重し支え合う共生社会をめざす人権教育の推進ー」
- ・『多文化共生と国際協力の出会い～国境を越えてつながる一人ひとりの尊厳～』
(監修：吉富志津代、日比野純一) 名古屋外国語大学、2021年3月

(2) ネットワーク

吉富

- ・たかとりコミュニティセンター 常務理事
- ・NGO神戸外国人救援ネット 設立メンバー／運営委員
- ・ベトナム夢KOBE 運営委員
- ・ひょうごラテンコミュニティ 特別顧問
- ・兵庫県外国人県民共生会議 メンバー

- ・（公財）兵庫県人権啓発協会 人権問題研究アドバイザー
- ・ひょうご市民活動協議会 顧問
- ・兵庫県「若人の賞」 審査委員
- ・兵庫県長期ビジョン審議会 委員
- ・豊中市国際交流センター指定管理者選定評価委員会 委員
- ・「ひょうご安全の日推進県民会議」 企画委員
- ・トヨタ財団「外国人材の受け入れと日本社会」 選考委員
- ・ひょうごコミュニティ基金「輝け加古川みらい基金」 選考委員長
- ・芦屋市指定管理者選定・評価委員会（潮芦屋交流センター） 委員

李

- ・NGO神戸外国人救援ネット 運営委員
- ・ひょうご市民活動協議会（HYOGON） 副代表
- ・西日本地区入国者収容所等視察委員

村上

- ・特定非営利活動法人遊び雲 監事

山口

- ・兵庫・国際協力同志の会（HYOMIC） 幹事
- ・CODE海外災害援助市民センター 理事

(3) 非常勤講師など

李

- ・京都外国語大学「NGO・NPO活動論」「コミュニティビジネス」「多文化共生（プロジェクト科目）」

村上

- ・関西学院大学「多文化社会と人権（人権教育科目）＜オムニバス＞」
- ・大手前大学「大阪・神戸における多様な共生社会と文化＜オムニバス＞」

(4) 学会／研究会など

吉富

- ・ 移民政策学会
- ・ 多文化関係学会
- ・ 関西公共政策研究会

5. たかとりコミュニティセンター（TCC）関連事業

(1) TCC事務局業務

- ・ 総会（年1回）、理事会（年4回）、事務局連絡会（月2回）の議案、議事録・各種資料準備
- ・ 会計処理業務
- ・ 事業報告書等の所轄庁への提出、定款・役員の変更手続き、登記等、運営全般
- ・ フィールドワークとオリエンテーションの受入れ（オンラインを含む） など

(2) TCC IT委員会

TCCのITに関する諸事項を団体間で共有する会議（年間4回）に参加。PCのトラブルやメンテナンス報告、TCCのサーバ（Web、ローカルを含む）について話し合った。

(3) 外国人コミュニティへのサポートなど

- ・ 関西ブラジル人コミュニティ、ベトナム夢KOBE、ひょうごラテンコミュニティに対して必要に応じたサポートを継続
- ・ 公益財団法人兵庫県国際交流協会、上記の三つの外国人コミュニティ、たかとりコミュニティセンターの三者協定による外国人県民サポート事業のアドバイザー的な役割を担当
- ・ 兵庫県外国人県民共生会議への出席
- ・ 神戸市ワクチン関連事業の実施に向けて相談を受けアドバイスを提供

6. 外国につながる子どもたちの活動事業

(1) ワールドキッズコミュニティに関する事業

2021年度末をもって団体を発展的に解消し、提言や啓発活動を中心にFACILのプロジェクトとして活動を継続していく方向で調整を図りつつ、残る資金をワールドキッズコミュニティのミッションに基づいて活用していく方向性の検討を進めた。

<運営委員>

吉富 志津代（代表）

村上 桂太郎（事務局長）

松田 陽子 兵庫県立大学経済学部 名誉教授

金 信鏞 一般社団法人神戸コリア教育文化センター 代表

山本 則子 神戸市立長田南小学校 非常勤教諭

落合 知子 神戸大学国際人間科学部 准教授

李 裕美 FACIL事務局長

坂田 岳彦 嵯峨美術短期大学 教授

7. 多言語サポートに関する事業

(1) 新型コロナウイルス関連多言語支援活動（寺山財団の寄付：300万円）

神戸市および兵庫県内において、外国人住民の多くがコロナに関する予防や啓発、支援についての情報が行き届かず、また相談や検査の場面で必要な通訳の提供を受けられないという地域課題に対処すべく、NGO、外国人コミュニティ、社会福祉協議会等と連携し、要請に応じて、コロナ禍において困窮する外国人住民が教育・医療・労働・生活などの分野で必要とする通訳・翻訳を提供した。通訳の実施にあたっては、同行通訳だけでなく、遠隔でも対応できるように環境を整備した。

また、昨年度にホームページ等を通じて配信したコロナ関連多言語支援情報の内容や発信形式について、外国人住民、外国人コミュニティや外国人支援に関わるNGOのスタッフにアンケートおよびヒアリング調査を行い、有効であった点と至らなかった点を検証し報告書にまとめた。

さらに、感染予防やワクチン接種啓発など、有効な情報の多言語化にも取り組んだ。

① コロナ陽性者・接触者通訳環境整備

- ・神戸市および兵庫県内において、外国人住民が相談や検査等の必要な場面で通訳を利用できる環境整備のため、4月に兵庫区の社会福祉協議会及び保健所にヒアリングを実施。留学生をはじめとした外国人住民のコロナへの感染、予防、必要な情報へのアクセスについての状況を把握し、5月より兵庫保健

センターに遠隔通訳の通信機器の無料貸与（～3月末まで）と遠隔通訳の提供（～6/28まで）を開始。

- ・神戸市内の他の保健センターでも同様に遠隔通訳を利用できる仕組みを作るべきと市に提案し、6月末より神戸市の予算で市役所本庁、各区保健所、北須磨支所、宿泊療養施設15か所で遠隔通訳システムが導入。本活動予算の利用期間中（5月13日～6月28日）の兵庫保健センターに提供した通訳件数は25件。

②コロナ下で困窮する外国人住民への通訳情報および通訳サービスの提供

- ・外国人支援団体の要請を受けて同行および遠隔通訳を実施（NGO神戸外国人救援ネット：1件、京都YWCA：3件）
- ・NGO神戸外国人救援ネット主催の居住支援研修会（1/9）のベトナム語参加者に向けた通訳とチラシ翻訳を実施
- ・外国人コミュニティに多くの相談が寄せられていたコロナワクチン接種について、接種までの流れをまとめた情報を作成・翻訳し全19言語で公開(2021年6月28日)
<https://tcc117.jp/facil/covid-vaccine> ※情報の更新に合わせて翻訳も順次改訂
- ・短期滞在や仮放免中などの人のワクチン接種についての情報を全18言語で公開（2022年2月8日）
<https://tcc117.jp/facil/covid-vaccine-02>
- ・国内の病院で活用できるコロナ感染の疑いがある人や陽性者、妊婦等に配布する資料を翻訳し、ダウンロードできるホームページを公開。日本語、ベトナム語で、11件のコンテンツをアップロード <https://tcc117.jp/facil/covid-vaccine-02>
- ・外国にルーツを持つ翻訳ボランティア登録者を対象に、本支援活動で作成した多言語ポータルサイトについてアンケートを実施（実施期間：8月18日～9月7日、回答数：20）
- ・アンケートへの回答の詳細などの確認を目的に登録者4名と協力団体6団体にヒアリング調査を実施

③外国人コミュニティとの連携による啓発情報の発信

上記アンケートとヒアリング調査を踏まえて、各外国人コミュニティや大学と協働で感染予防やワクチン接種啓発についてコンテンツを制作しオンラインプラットフォームで発信

- ・ベトナム夢KOBEOおよび神戸大学大学院保健学研究科との共同制作コンテンツ（ベトナム語）
Part 1「新型コロナウイルスにかかったらどうする?」
<https://www.youtube.com/watch?v=XwiFbcbEGnM>
Part 2「身近な人が新型コロナウイルスにかかったときには」
https://www.youtube.com/watch?v=_Zj_5Hr0zIQ
- ・ひょうごラテンコミュニティとの共同制作コンテンツ（スペイン語）
日本でCOVID-19ワクチンを接種する手順に関するビデオ
https://www.youtube.com/watch?v=p_zY5RM3xHY

<課題>

もともと不安定な雇用形態であることが多い外国人労働者は、解雇や休業、勤務の減少などコロナ禍で社会が停滞したことによる煽りを受けやすく、生活困窮に陥るケースがより顕著に見られた。また、感染拡大に伴い母国に帰国できなくなり、在留資格を更新して日本で滞在を続けるものの、働くことができず帰国まで生活を維持する術がないというケースや、先行きの不透明さ、長引く自粛生活によるストレスやDVなど様々な問題も噴出した。

感染対策に関しても、予防やワクチンの情報、検査・相談に必要な情報や通訳等の支援が得られずに困る外国人住民も多く、各地のNPO・NGO等の支援団体や外国人コミュニティが相談を数多く引き受け、情報提供と直接的な支援に懸命に対応している状況であった。外国人住民が言葉の壁により公的サービスや情報にアクセスできずに困窮しやすい状態は未だ根本的な改善を必要とし、社会の一員として安心して生活していけるようにする、特に言語面でのサポート環境の構築によるセーフティネットの強化が求められている。

8. その他

(1) FMわいわい労務処理・電話対応等業務

FMわいわいのJICA関連事業の労務処理と電話対応等の業務を実施

(2) ミャンマー支援活動

- ・ミャンマーの民主化を支えるKANSAI市民の会に幹事として参加し、ミャンマーを応援するイベント「Art & Talk is Our Weapon」を2回開催（2021年4月18日、5月16日）。また、「下町芸術祭」にあわせ10月9日(土)～24日(日)の毎週木・金・土「民主化を奪われたMyanmar～生きるためのアート/レジスタンス・ポスター展&23日(土)トークセッションを実施
- ・活動資金として54,511円負担
- ・翻訳・通訳コーディネーター協力（協力：名古屋外国語大学世界共生学部 吉富研究室）

(3) 兵庫・国際協力同志の会（HYOMIC）

兵庫・国際協力同志の会（HYOMIC）に幹事として参加し、兵庫県における国際協力をテーマとした学び合いとネットワークづくりをめざし、六甲アイランド基金を利用して主催ミーティングを2回実施。第1回の「多文化共生と国際協力 Vol.2」（2021年10月11日）では、その内容を受け後日「多文化共生と国際協力の出会い」ブックレットを出版、また第2回「国際協力次世代の担い手～ユースの発想と手法～テーマ：国際協力×私」（2022年3月28日）はFACILの若手スタッフが企画運営チームとして参加した。

(4) エクセレントNPO大賞

エクセレントNPO大賞（運営：「エクセレントNPO」をめざそう市民会議）に応募し、組織力賞にノミネートされた。惜しくも受賞は逃したが、NPO団体としてのFACILを幅広い視点から評価するツールと、来年のチャレンジへの足掛かりを得た。

9. 組織運営

(1) 会員・FACILインターン

① 会員

登録状況

- ・ 翻訳・通訳登録会員 1,631名（2022年3月31日現在、会費なし）
- ・ 正会員 14名（会費：5,000円）
- ・ 賛助会員 1名（3,000円：年会費／月会費 選択制）

メールマガジン「FACIL117! だより」（2014年7月～）

会員のうち希望者を対象とし、翻訳通訳者等、FACILの協力者に役立つ情報を配信している。

（2022年5月10日現在631人）

- ・ 発行方法：Googleグループ
- ・ 配信頻度：毎月1～2回
- ・ 2021年度発行数：20号
- ・ 内容：FACILや協力団体等のイベント案内、研修案内、活動報告、業務上のヒント、ボランティアや仕事の募集情報、多言語情報等

② FACILインターン

2021年度は、2名のインターン生を受け入れた。近年就職活動の一環としての企業インターンシップが流行している中、就職に直接つながらないFACILインターンシップを選んで応募する学生の目的意識は高いように感じる。業務内容としては、翻訳コーディネイト補助、医療通訳コーディネイト補助など、FACILの活動に幅広く関わり、またインターン生の関心に応じてたかとりコミュニティセンターの各団体とも交流を行った。

2021年度FACILインターンシップ参加者内訳

大学生（院、専門学校生を含む）	社会人	合計
1名	1名	2名

(2) 広報・発信啓発・ファンドレイジング

①FACILホームページ運用

ホームページへの来訪者がどんなキーワードで検索しアクセスしているかを、キーワード分析ツール「Googleサーチコンソール」を使ってウォッチしている。

このことから、昨年度ホームページに掲載したコロナウイルスに関する多言語情報が、いまだに一定数のアクセスを維持していることがわかっている。

2022年1月～3月は、次のようなベトナム語のキーワードで一定のアクセスがあった。

(※「表示回数」≠このキーワードで検索された回数＝需要を表す指標)

- ・ bảo hiểm thất nghiệp ở nhật (日本の失業保険) [クリック：10、表示回数：1,083]
- ・ trợ cấp thất nghiệp ở nhật (日本の失業手当) [クリック：6、表示回数：382]
- ・ trợ cấp thất nghiệp (失業手当) [クリック：3、表示回数：74]
- ・ làm bảo hiểm thất nghiệp ở nhật (日本で失業保険に加入する) [クリック：1、表示回数：211]
- ・ cách xin bảo hiểm thất nghiệp ở nhật (日本での雇用保険の申請方法) [クリック：1、表示回数：181]

ベトナム人住民が抱える不安や悩みの傾向が『感染症に対する不安』から『仕事を失う不安』に変化しており、ここ数か月間では「失業」関連の情報は高い需要があることが読み取れる。

このように、Googleサーチコンソールには、外国人住民の切迫した事情が現れることがある。これをリアルタイムで読み取ることと、応えるコンテンツを策定することが大切である。そのためにも、日頃のウォッチは欠かすことのできないものになっている。

②SNS、インターネットを活用した情報発信

Facebook

理事長、事務局、インターンが適宜投稿。

- ・ フォロワー1,665 (2020年度1,099、2019年度784) 人
- ・ 「いいね」1,507 (2020年度1,015、2019年度860)

2021年度の投稿では、コロナウイルスの神戸市ワクチン接種案内を多言語で案内したほか、神戸PRアンバサダーで企画したイベントのレポート、セミナー・講演の報告などを紹介した。

③Webを活用した物品販売・寄付など

- ・ 大阪ガスの会員が獲得ポイントで市民活動を応援する「Social Design+」応援プロジェクト（募集期間：2022年3月7日 [月]～6月6日 [月]）に選出された。
- ・ 一般社団法人ウルノスが代行して商品をネットオークションで販売するしくみ「モノキフ」を通して寄付を受けた。TCCに寄贈されたレコードの販売を委託している。

(3) 管理部門

①総務全般

TCCとの連絡調整、データベースの移行、ICT整備、機器管理、理事会・総会関連業務、文書管理、団体内外の慶弔業務、地域・他団体との渉外、雇用関連の補助金申請・管理・報告などに取り組んだ。

ワールドキッズコミュニティは年度内の活動状況に伴い、問い合わせへの対応と会計処理を行う以外は休止状態であった。

②労務・人事・福利厚生

- ・職場環境を整備のため、「両立支援等助成金（育児休業等支援コース）」を申請し採択された。
- ・労務の諸手続等については社会保険労務士と連絡を取り指示を受けながら、円滑な業務の遂行に努めた。
- ・前年度の業績を鑑みて常勤職員について5%+5,000円のベースアップを、非常勤のコーディネーターに対しても昇給を実行した。
- ・FMわいわいの草の根事業の労務および事務に協力した。

③会員・人的資源管理データベース（データベース）の構築・運用

- ・kintoneおよびWordPressを使った業務システムを完成し、現行データベース（Filemaker）からデータを移行し、全面的な運用に向けて準備した。
- ・会計ソフトとの連携だけではなく、顧客や翻訳・通訳者の登録や受発注の際のやり取りもWebブラウザを窓口としながらデータベースに自動登録されていくかたちにするため、プラグインやアプリの導入と活用を進め、法人業務全体にわたって更なる効率化と質の向上を図った。

④経理・税務

- ・クラウド型の会計ソフト（free）を活用し、データベースとの連携を進め、更なる効率化と質の向上を図った。
- ・例年通り税務申告は高税理士事務所に委託した。

⑤庶務

備品・文具等消耗品、光熱費削減等の意識は高く、スタッフ一同に浸透している。しかし建物の構造上、冬期は備え付けの暖房設備を利用していても快適な室温にはなりにくいため、着席する位置により電気ヒーターの利用についてTCCの許可を得た。

TCCの一団体として、NPO棟の毎月の掃除当番、毎月第1木曜日の古紙回収等、環境美化にも努めている。

⑥PCセキュリティ対策／メンテナンス／LAN管理

リーフグリーンおよびひょうごんテック所属の緒方和也さんに継続的にICTメンテナンスを依頼した。

⑦ミーティング

- ・全体ミーティング：5月1日、5月6日、5月9日（各自業務の共有、20年度振り返り、21年度計画）
- ・運営ミーティング：4月15日、8月2日、11月18日
- ・朝ミーティング：毎朝9時45分～実施
- ・翻訳・通訳ミーティング：基本的に毎週火曜日の朝ミーティング後に実施
- ・その他事業ごとに適宜ミーティングを実施

(4) 総会・理事会

①総会 6月24日 正会員総数13名のうち委任状出席4名を含めて13名出席

②理事会

- ・第1回 6月24日 総会に提案する内容の確認と承認、理事の選定、理事報酬、職員の昇給 他
- ・第2回 9月17日 役員の退任と補充、組織体制の情報共有と今後、各事業の進捗、財務状況 他
- ・第3回 12月10日 各事業の進捗、財務状況、冬季賞与の支給 他
- ・第4回 3月4日 FACILとTCCの関係性、大阪NPOセンターの事業運営支援プログラムの報告、各事業の進捗および財務状況 他